

# 羽島郡広域連合 消防だより

第36号



## 消防技術競練会実施

令和元年12月10日、消防技術競練会を実施しました。消防技術競練会は、救助活動及び消火活動に必要な消防技術の向上と隊員の士気の高揚を図り、実災害時に有効適切な消防活動を行うことを目的とし、毎年、小隊対抗で実施され、活動の確実性・迅速性・安全性等を競い合います。

発行日/2020年3月1日  
発行所/羽島郡広域連合

羽島郡広域連合 公式ホームページ  
<http://www.hashimagun-fd.jp/>

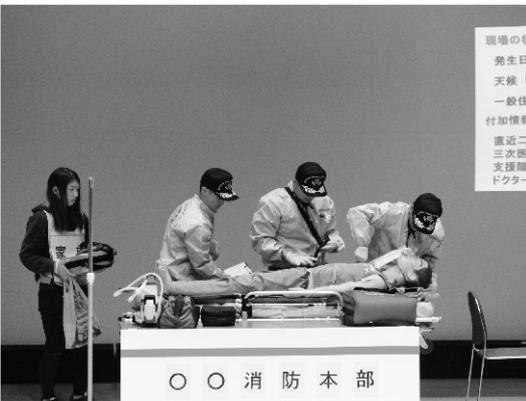


# 救急隊員技術発表会

令和元年十一月七日、本巣郡北方町にある北方町ホリモク生涯学習センターにおいて岐阜県消防長会主催の、第十七回岐阜県救急隊員技術発表会が開催されました。この発表会は、岐阜県下の救急隊員が、救急現場で行う処置を発表し、救急医療の専門医師から指導・助言を受けて問題点を研究し、病院前救護体制の一層の充実を図ることを目的としたものです。

岐阜県下の各地区の代表四消防本部（養老町消防本部、下呂市消防本部、瑞浪市消防本部、羽島郡広域連合消防本部）が事前に想定内容を知らされない「ブラインド方式」により、一一九番通報から病院搬送までの救急活動を発表しました。

年々高度化する救急活動を円滑に進める事ができるよう、日々訓練に努めてまいります。



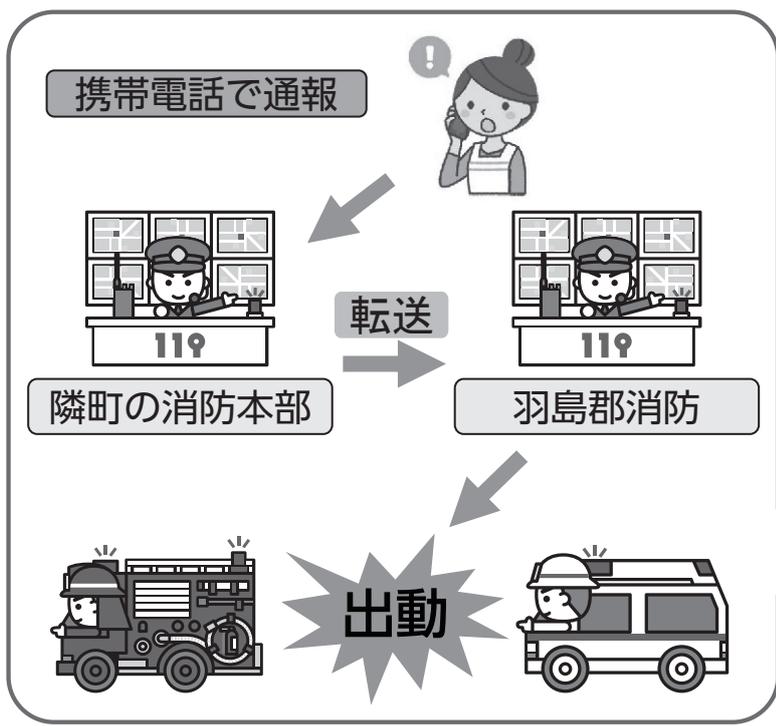
## 第17回 岐阜県救急隊員技術発表会



# 消防雑学〜携帯一一九番〜

一一九番通報すると、管轄消防本部の指令室に電話が繋がります。しかし、携帯電話での通報は、稀に隣町の消防本部に繋がる場合があります。その場合は、災害発生地域を管轄する消防本部へ一一九番通報の転送を行いますので、電話を切らずにお待ちください。この場合、一般加入電話の通報に比べ、多少時間がかかってしまいます。

最寄りの消防署から、スムーズに出動するためですのでご理解ください。



平成三十一年／令和元年 火災・救急・救助の概要

平成三十一年／令和元年中に羽島郡広域連合消防本部管内で発生した火災・救急・救助出場の概要は次のとおりです。

火災件数は、七件で前年と比べ三件の減少となりました。

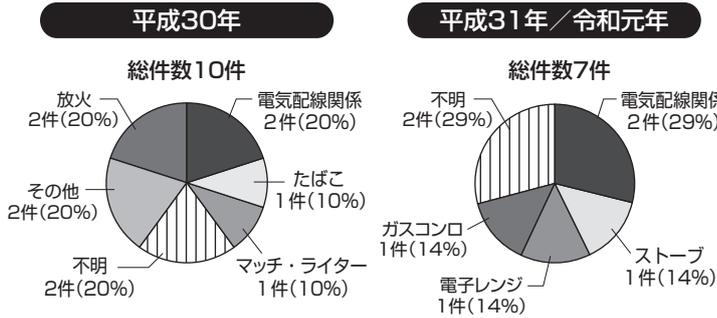
火災種別は、建物火災六件、車両火災〇件、その他の火災一件となりました。また、火災による死者が一人、負傷者は四人と、死者が発生する残念な結果となりました。

損害額は、三千百四十三万二千円となり、前年に比べ二千二百二十二万二千円と大きく増加しました。

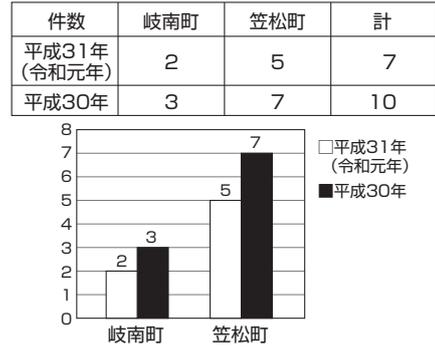
出火原因別では、ストーブ一件、電子レンジ一件、電気配線関係二件、ガスコンロ一件、不明二件による火災となりました。救急出場件数は、二千四十五件で前年と比べ百八件の減少となりました。また、出動種別のトップは急病の千二百五十九件で、全体の六十二％を占めました。

救助出場件数は、三十五件で前年と比べ一件の増加となりました。また、出動種別のトップは交通事故の二十五件で全体の七十一％を占めました。

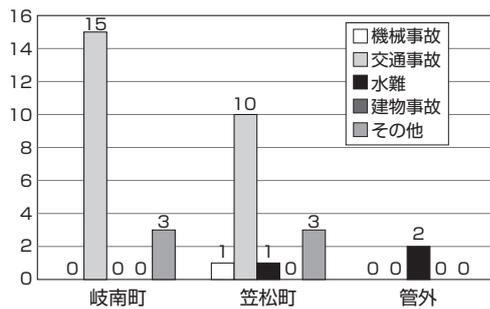
■出火原因



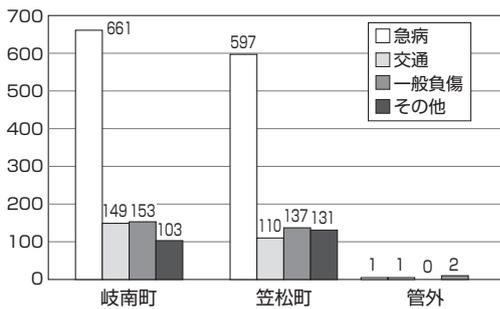
■町別火災件数



■平成31年／令和元年中の町別救助件数



■平成31年／令和元年中の町別救急件数



春季全国火災予防運動

(令和二年三月二日～七日)

今年も春季全国火災予防運動が実施されます。

この運動は、火災が発生しやすい時季を迎えるにあたり、火災予防思想の一層の普及を図り、もって火災の発生を防止し、高齢者を中心とする死者の発生を減少させるとともに、財産の損失を防ぐことを目的としています。

今年の重点目標は、次の六つです。

- 住宅防火対策の推進
- 乾燥時及び強風時の火災発生防止対策の推進
- 放火火災防止対策の推進
- 特定防火対象物等における防火安全対策の徹底
- 製品火災の発生防止に向けた取組の推進
- 多数の者が集合する催しに対する火災予防指導等の徹底
- 期間中には、火災予防ポスターの配布、巡回広報、危険物施設の立入検査等を行います。

「二〇一九年度 全国統一防火標語」  
「ひびひすい  
いいね!で確認  
火の用心」

火災予防運動



- ◎住宅防火 いのちを守る七つのポイント
- 〽三つの習慣・四つの対策

- 【三つの習慣】
- 寝たばこは、絶対しない。
  - ストーブの近くに燃えやすいものを置かない。
  - こたろに火をつけたままでは、おぼろげに燃やさない。
- 【四つの対策】
- 逃げ遅れを防ぐために、住宅用火災警報器を設置する。
  - 寝具、衣類及びカーテンからの火災を防ぐために、防災品を使用する。
  - 火災を小さいうちに消すために、住宅用火災警報器等を設置する。

○お年寄りや身体の不自由な人を守るために、隣近所の協力体制をつくる。

消防長特集



川瀬 敏也 消防長

消防長挨拶

元号が平成から令和へと変わり、新たな時代が始まりました。平成十四年四月、羽島郡広域連合として発足し、来年度で十九年目を迎えます。

この間、関係各位の行政に対する深いご理解とご協力のもとに、消防業務の充実強化を図ってまいりました。

近年の災害状況をみますと地震、台風、さらには集中豪雨による自然災害が頻繁に発生しています。また、高齢化社会の進展による、救急需要の増大など社会情勢の変化や複雑多様化する災害事象に伴い、これまで以上に消防行政を取り巻く環境は厳しく、その果たすべき役割もより大きくなっていきます。

消防長点検の紹介

このような時代の変化による様々な災害に対応するため、今後とも引き続き、消防、救急体制の充実・強化、さらには、消防団や各地域の防災関係機関との連携を図り訓練や情報共有化に努め、職員が一丸となり「すべては住民のために」をモットーに消防任務の達成に向け全力で取り組んでまいります。

経歴

○昭和五十四年四月 羽島郡消防事務組合

消防吏員を拝命

○平成六年一月 岐阜県防災航空隊へ派遣

(第一期)

○平成二十五年四月 消防本部総務課長

○平成二十八年四月 消防次長兼西消防署長

○平成三十年四月 消防本部消防長



消防職員意見発表会

令和二年一月二十四日、岐南町総合福祉センターやすらぎ苑で、消防職員意見発表会が行われました。

この意見発表会は消防職員の資質の向上を図るため、毎年行われているもので、西消防署・東消防署から選出された職員十人が、「消防・防災に関すること」をテーマに意見を発表しました。

この発表会には、羽島郡二町教育委員会教育長、岐阜県消防学校教頭、当連合会計管理者の三人が厳正に審査し、次の職員が選ばれ、最優秀賞の二人が二月十四日の岐阜地区大会に出場しました。



消防士 桑原 寛明



努力賞



消防士長 森 安雄



優秀賞



消防副士長 酒井 聖幸



消防士長 坂本 雅人



最優秀賞

住宅用火災警報器を設置しましょう！